

東北地方 1か月予報

(11月6日から12月5日までの天候見通し)

平成22年11月5日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

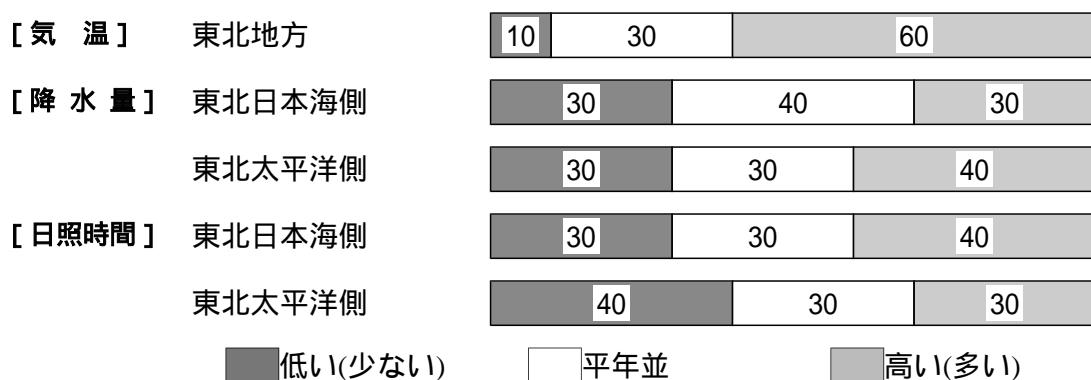
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとあります。

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い見込みです。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

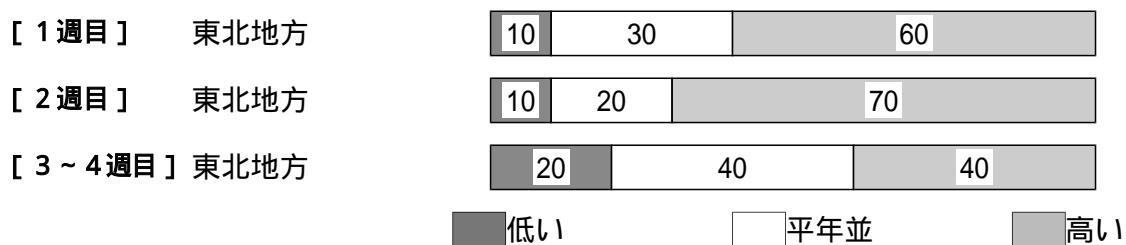
向こう1か月の平均気温は、高い確率が60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率が60%です。2週目は、高い確率が70%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

- 1か月 : 11月 6日(土) ~ 12月 5日(日)
1週目 : 11月 6日(土) ~ 11月 12日(金)
2週目 : 11月 13日(土) ~ 11月 19日(金)
3~4週目 : 11月 20日(土) ~ 12月 3日(金)

<次回発表予定等>

- 1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は11月12日
3か月予報: 11月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	5.5	133.8	80.6	7.8	6.3	4.3
深浦	6.5	150.3	60.6	8.8	7.3	5.3
むつ	5.3	115.4	96.6	7.5	6.1	4.2
八戸	5.7	56.2	132.1	8.0	6.5	4.6
秋田	6.7	189.6	74.2	8.9	7.5	5.6
盛岡	4.8	89.8	111.8	7.1	5.5	3.6
大船渡	7.4	94.0	136.6	9.5	8.1	6.2
宮古	6.9	78.0	145.5	9.0	7.7	5.8
仙台	8.2	58.6	138.7	10.4	9.0	7.1
石巻	7.4	58.4	147.2	9.7	8.2	6.2
山形	6.3	78.8	93.9	8.5	7.1	5.1
新庄	5.4	199.1	55.3	7.5	6.1	4.3
酒田	8.1	232.7	70.2	10.2	8.8	7.0
福島	8.1	57.8	128.0	10.3	8.9	6.9
若松	6.0	76.6	83.4	8.4	6.9	4.7
白河	6.7	59.3	147.7	8.9	7.5	5.5
小名浜	9.9	81.4	163.0	12.0	10.7	8.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.6 ~ +0.7	80 ~ 107	95 ~ 105
東北日本海側	-0.5 ~ +0.7	89 ~ 106	95 ~ 105
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.7	68 ~ 106	95 ~ 106

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6
東北日本海側	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.7	-0.6 ~ +0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成22年11月5日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(11月6日~12月5日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い見込みです。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率が60%です。

1週目(11月6日~11月12日) :

東北日本海側は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、期間の中頃は東北北部や山沿いで雪の降る日があるでしょう。東北太平洋側は晴れる日が多い見込みです。

気温は、高い確率が60%です。

2週目(11月13日~11月19日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、高い確率が70%です。

3~4週目(11月20日~12月3日) :

天気は数日の周期で変わらるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い見込みです。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

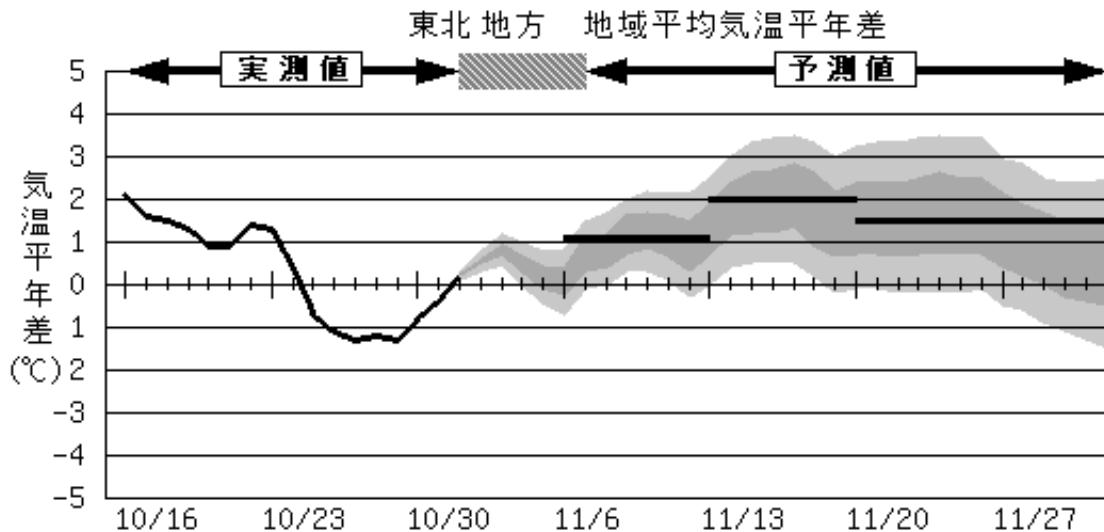
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数(日)

青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
8.6	16.3	7.8	17.2	13.5	11.1	17.2	5.8	10.0	11.5	15.6	6.4

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3~4週目ともに平年を上回る予想となっている。



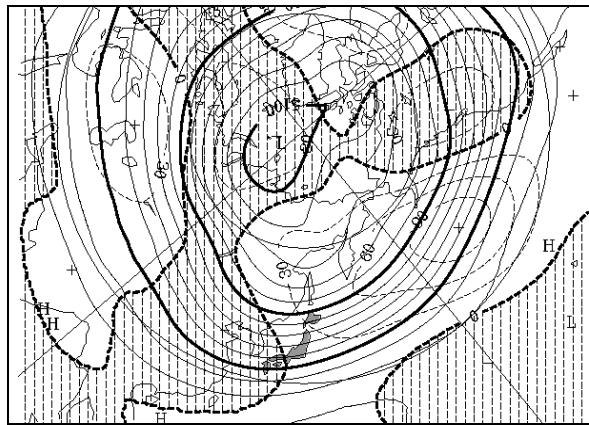
- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。
- ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 北日本から東日本付近は太平洋東部に中心を持つ正偏差におおわれるが、ユーラシア大陸東岸から西日本にかけては負偏差となる。日本付近は西谷傾向となり、南からの暖かく湿った気流が流れ込みやすい。東北地方は高温が予想される。

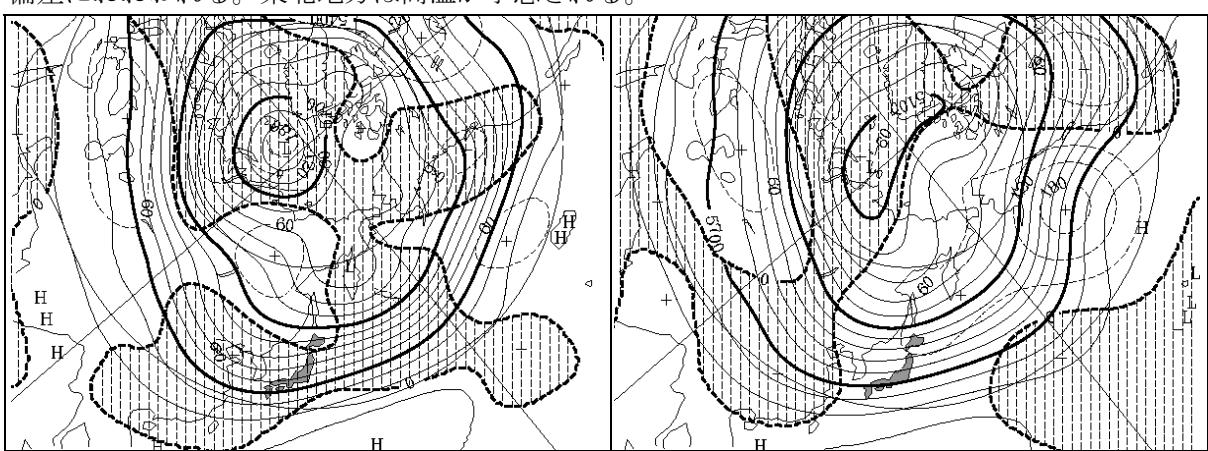
1週目: 北海道はシベリア東部を中心を持つ正偏差におおわれるが、本州以南はユーラシア大陸東岸から日本のはるか東に広がる負偏差におおわれ、北日本には偏差ゼロ線がかかる。850hPa 気温予想図（図略）では北日本は正偏差となり、東北地方は高温が予想される。

2週目: 日本付近は太平洋東部を中心をもつ正偏差におおわれる。東北地方は高温が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

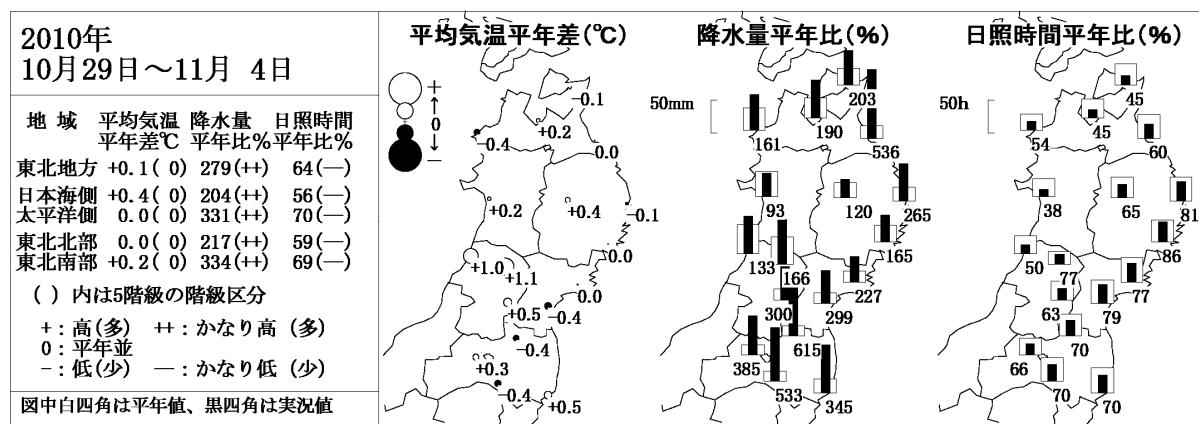


実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（10月29日～11月4日）の天候の経過

この期間、低気圧や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。30日から31日にかけては台風第14号の影響で、東北太平洋側で大雨となった。1日は日本海を東進した低気圧や本州の南岸から三陸沖を北上した低気圧の影響で、各地で大雨となった。その後は冬型の気圧配置となり、2日は東北日本海側を中心に大雨となった。気温は、期間の中頃は台風第14号の影響で、南から暖かい空気が流れ込んだため高温となったが、期間のはじめと終わりは寒気の影響で低温となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）